

令和2年度進行管理・評価シート
甘楽町歴史的風致維持向上計画（平成22年3月30日認定）
（第2期 令和2年3月31日認定）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画推進に向けた庁内の連携体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観形成助成金の交付	2
2 景観計画の活用	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 楽山園内照明施設整備事業	4
2 歴史的まちなみ調査事業	5
3 楽山園周辺道路美装化整備事業	6
4 織田公公園内林内整備事業	7
5 案内板・情報板等整備事業	8
6 無電柱化事業	9
7 雄川堰整備事業	10
8 桜並木保存整備事業	11
9 地域コミュニティ組織づくり事業	12
10 歴史まちづくり講習会事業	13
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・防災・防犯	14
2 文化財の普及・啓発	15
3 重点区域における伝統的建造物群保存 地区制度の導入に向けた取組み	16
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 織田宗家7代の墓守る「御霊屋」完成 ほか	17~21
⑥その他(様式1-6)		
1 施設整備後の活用と歴史文化啓発に 関する事業	22

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
計画推進に向けた庁内の連携体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	甘楽町歴史的風致維持向上計画推進会議及び同計画推進プロジェクトチーム、各事業者との連携を図りながら適切に計画を推進する。計画掲載事業の進捗状況の確認、評価を行い、定期的な報告、意見の聴取等を実施し、実効性を高めるとともに、必要に応じた計画変更を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
建設課、産業課、企画課及び社会教育課からなる甘楽町歴史的風致維持向上計画策定委員会・専門部会及び庁内各部署からの意見聴取により事業の進捗管理・評価について協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も各部署との連携・調整、庁内横断的な意見聴取による体制強化を図っていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid #808000; padding: 10px; width: 40%;"> <p>組織体制(H31. 4)</p> <p>【企画課】 企画調整係:3名</p> <p>【建設課】 まちづくり推進室:1名 都市計画係:3名 建設係:3名</p> <p>【産業課】 商工観光係:4名</p> <p>【社会教育課】 文化財保護係:3名</p> <p>【その他部局】 行政、財政担当ほか</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 20px;">➡</div> <div style="border: 2px solid #808000; padding: 10px; width: 40%;"> <p>組織体制(R2. 4)</p> <p>【企画課】 企画調整係:3名</p> <p>【建設課】 都市計画係:4名 建設係:3名</p> <p>【産業課】 商工観光係:4名</p> <p>【社会教育課】 文化財保護係:3名</p> <p>【その他部局】 行政、財政担当ほか</p> </div> </div>			

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
景観形成助成金の交付		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	当町では平成元年9月に「甘楽町ふるさと景観をまもり、そだて、つくる条例」を制定し、歴史と伝統の特色を活かした景観保存を住民とともに推進してきた。平成29年度からは、「甘楽町景観条例」に基づき、取り組みを推進している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「甘楽町景観条例」の規定によるふるさと景観の形成のための事業に対して、助成を行った。 令和2年度 申請件数2件、助成額363,333円			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
<p>■勘定奉行役宅高橋家庭園 勘定奉行役宅高橋家の庭園を通年で観光客に無料開放を行い、中小路に面した歴史的建造物や庭園等の景観維持を図った。</p>			
			
<p>■山田家の喰い違い郭 大奥の庭園及び喰い違い郭を通年で観光客に無料開放を行い、中小路及び御殿前通りに面した歴史的遺構や庭園等の景観維持を図った。</p>			

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
景観計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 当町は、平成元年9月に「甘楽町ふるさと景観をまもり、そだて、つくる条例」を制定し、都市景観の形成に努めてきた。また、平成22年9月に景観行政団体に移行し、平成23年3月には景観法に基づく景観計画を策定し、歴史的風致の維持及び向上に資する施策を講じている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本町の景観に大きな影響を及ぼすと考えられる、一定規模以上の建築行為等を行う場合に、行為の着手前に計画内容に関する届出を行ってもらい、景観計画で定める「景観形成基準」に適合しているかどうかの審査を行っている。
 令和2年度 届出件数 5件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

※代表的な基準を以下に示します

区 分	基準の内容																																						
建築物の建築等/工作物の建設等	配置位置 主要な眺望点からの山並みや自然景観への眺望を阻害しない配置とすること。 周囲の町並み、家並み、田園等と調和するように配置すること。																																						
	形態意匠 高さの最高限度を20m(6階建て程度)とする。(ただし町長が認める場合はこの限りではない) 周辺の建物と統一感を持たせ、連続性のある町並み形成に努めること。 大面積に具象な絵柄や必然性のないデザイン、華美な装飾を施さないようにすること。																																						
	材質 経年変化で賑わいの増す自然素材(石、木材、レンガ等)を積極的に活用すること。 光沢のある材料や反射光の生じる素材を大部分にわたって使用することは避けること。																																						
	色彩 外観の色彩は以下のとおりとする。ただし、着色していない木材、土壁、ガラス等の材料によって仕上げられる部分の色彩、または見付面積の1/10未満の範囲内で外観のアクセント色として着色される部分の色彩についてはこの限りでない。																																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: left;"><壁面(屋根以外)></th> <th colspan="3" style="text-align: left;"><屋根></th> </tr> <tr> <th>色相</th> <th>彩度</th> <th>明度</th> <th>色相</th> <th>彩度</th> <th>明度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R(赤)</td> <td>4.0以下</td> <td></td> <td>R(赤)~Y(黄)</td> <td>4.0以下</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">5.0以下</td> </tr> <tr> <td>YR(黄赤)</td> <td>6.0以下</td> <td>2.0以上 9.0以下</td> <td>YR(黄赤)</td> <td>6.0以下</td> </tr> <tr> <td>GY(黄緑)</td> <td>1.5未満</td> <td></td> <td>GY(黄緑)</td> <td>2.0以下</td> </tr> <tr> <td>~RP(赤紫)</td> <td>1.5以上 2.0以下</td> <td>2.0以上 7.0以下</td> <td>~RP(赤紫)</td> <td>2.0以下</td> </tr> <tr> <td>無彩色(N)</td> <td>—</td> <td>2.0以上 9.0以下</td> <td>無彩色(N)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	<壁面(屋根以外)>			<屋根>			色相	彩度	明度	色相	彩度	明度	R(赤)	4.0以下		R(赤)~Y(黄)	4.0以下	5.0以下	YR(黄赤)	6.0以下	2.0以上 9.0以下	YR(黄赤)	6.0以下	GY(黄緑)	1.5未満		GY(黄緑)	2.0以下	~RP(赤紫)	1.5以上 2.0以下	2.0以上 7.0以下	~RP(赤紫)	2.0以下	無彩色(N)	—	2.0以上 9.0以下	無彩色(N)	—
	<壁面(屋根以外)>			<屋根>																																			
色相	彩度	明度	色相	彩度	明度																																		
R(赤)	4.0以下		R(赤)~Y(黄)	4.0以下	5.0以下																																		
YR(黄赤)	6.0以下	2.0以上 9.0以下	YR(黄赤)	6.0以下																																			
GY(黄緑)	1.5未満		GY(黄緑)	2.0以下																																			
~RP(赤紫)	1.5以上 2.0以下	2.0以上 7.0以下	~RP(赤紫)	2.0以下																																			
無彩色(N)	—	2.0以上 9.0以下	無彩色(N)	—																																			
屋外設備等 屋外設備を設置する場合は、道路・鉄道からできるだけ見えない位置に設置すること、やむを得ず屋外設備等が見える場所に設置する場合は目立たないよう工夫すること。																																							
外構 駐車場等 敷地内では、地味の色調や植生によって適切な積木や草花による緑化を図り、周辺環境の向上に努めること。 駐車場やサービスヤード、ごみ置き場等は、植栽などの工夫により、内観が道路側から目立たないようにすること。																																							
木竹の伐採 (林業に関わる行為以外) 木竹の伐採にあたっては、周辺景観への影響を配慮して検討を行うこと。 樹木の種類、積木、樹形等の蓄積を調査し、木竹の伐採を検討すること。																																							
土石の採取等における土地の形質の変更 土石の採取等については、道路等の公共空間から容易に望見できないよう掘削位置及び方法を工夫すること。 土石の採取後は、既存の植生又は周囲の植生、地域の自然植生と調和した緑化を行い、自然環境及び景観の復元に努めること。																																							
屋外における土砂・廃棄物・再生資源その他の物件の堆積 長年に渡り土砂、廃棄物、再生資源等の堆積は行なわないこと。 堆積を行う場合、道路・鉄道から堆積物が見えないよう配置を工夫すること。それが困難な場合は、植栽や塀を設け、積み上げ高さを低く抑える等の配慮を行うこと。																																							

■甘楽町景観計画 景観形成基準

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
楽山園内照明施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(R2~R6:都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	楽山園は、江戸初期の池泉回遊式様式の庭園で、城下町小幡の中核を形成している。楽山園内に照明施設を整備することにより、夜間イベントの充実が図られ、見学を目的とした来訪者と住民との交流の場が創出される。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
園内各所にLEDスポットライト等を20台設置した。設置後、夜間イベントを行い、多くの方に来場いただき、普段と違った魅力を発信することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	夜間イベントの充実や、夜間開園等を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>■ 昼間</p> </div> <div style="font-size: 2em;">⇒</div> <div style="text-align: center;">  <p>■ 夜間</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>■ 昼間</p> </div> <div style="font-size: 2em;">⇒</div> <div style="text-align: center;">  <p>■ 夜間</p> </div> </div>			

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的まちなみ調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和6年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	甘楽町の雄川堰沿いの養蚕農家群を中心にまちなみの調査を行うことにより、町の歴史的なまちなみ保存が図られ、町の歴史的風致の維持及び向上に寄与することができる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度、甘楽町歴史的風致維持向上計画(第2期)を作成するにあたり、重点地区内の調査・聞き取りを行ったため、令和2年度については、実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致の維持・向上のため、今後も必要に応じ調査を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
楽山園周辺道路美装化整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(関連社会資本整備事業)		
計画に記載している内容	当該道路は、当町の歴史的風致の拠点となる楽山園へのアクセス路となり、歴史的建造物が存在するまちなみのなかを通っている。 道路の美装化を行うことにより景観性や回遊性が高まり歴史的資源を繋ぐネットワークの向上が図られる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度は、楽山園へ伸びる御殿前通りから県指定史跡の松浦氏屋敷へ続く道路の美装化を行い、景観性及び回遊性の向上に繋がった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	残りの路線についても、美装化を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>■整備前の状況(松浦氏屋敷前)</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="text-align: center;">  <p>■整備後の状況(松浦氏屋敷前)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>■整備前の状況(松浦氏屋敷方面入口)</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="text-align: center;">  <p>■整備後の状況(松浦氏屋敷方面入口)</p> </div> </div>			

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
織田公公園内林内整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	織田氏七代の墓は、城下町小幡の歴史やまちの成り立ちを知るうえで重要な場所であり、1期計画においては当該エリアを「織田公公園」として公園整備を実施した。2期計画においては、整備された織田公公園内の林内整備を実施することにより、良好な景観形成が図られる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
織田公公園内の林内を整備したことで良好な景観形成が図られた。 令和2年度 竹林伐採 A=2,240㎡ 法面整備 A=857.2㎡			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p>■整備前の状況</p> <p style="text-align: center;">↓</p>  <p>■整備後の状況</p>			

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
案内板・情報板等整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業・街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的建造物の周辺等、重点区域の主要な地点に案内板や情報板を設置することにより、住民や来訪者が建造物への理解を深めることができるとともに、散策ルートの設定等と併せ、歴史的風致の拠点を巡る回遊性の高いネットワークの形成が図られる。このことにより多くの人が甘楽町の歴史的風致に対する認識を深め、歴史的風致の維持向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
織田公公園内に案内板、情報板・説明板を、楽山園周辺道路に案内サインをそれぞれ設置した。			
案内板 1基 情報板・説明板 6基 藩主名板 7枚 案内サイン 4箇所			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
■織田公公園内情報板(山並み)		■織田公公園内情報板(歴代藩主妻子の墓)	
			
■楽山園周辺道路案内サイン		■織田公公園入口看板	

評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
無電柱化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成31年度～令和6年度		
支援事業名	防災・安全交付金		
計画に記載している内容	小幡上町・下町沿いの県道下高尾小幡線の電線類を地中化することにより、歴史的まちなみを残している雄川堰沿いの景観を保全し、往来する人々の回遊性が図られる。また、災害時における電柱倒壊の恐れがなくなるなど、防災面でも有効な事業となる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
隣接する県道と併せて事業を進める方針のため、富岡土木事務所と協議を行っている段階である。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地元関係者の理解と協力が不可欠であるため、住民との協議も併せて進めていく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
雄川堰整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和3年度

支援事業名 農山漁村地域整備交付金(地域用水環境整備事業)(大堰)
小規模農村整備事業(小堰)

計画に記載している内容 小幡のまちに網目状に張り巡らされている雄川堰(大堰及び小堰)は、小幡地区の歴史的風致の中核をなすものであるが、調査を行った結果、洗い場などで石積みが崩れている箇所が複数確認された。1期計画より引き続き、補修が必要な箇所の石積みの整備工事を行うことで、雄川堰の保存・活用が推進される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度に続き、重点区域内の雄川堰の進入路橋及び木柵の修繕を行い、景観の維持に努めた。
概算総事業費 207百万円
令和2年度までの事業費 181百万円(令和2年度事業費 20百万円)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



■事業着手前



■整備後



■事業着手前



■整備後

評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
桜並木保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	桜並木は雄川堰沿いに500mにわたり昭和40年ごろに植栽され、現在樹齢60年程を迎えている。県内でも有数の桜の名所となっており、町の観光のシンボルとなっている。これまで適正な維持管理ができておらず、害虫や菌類に侵食されている木もあり、朽ちる恐れがあるため、保存整備が急務となっており、保存整備により今後の景観形成の維持及び向上が図られる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
枝の選定、消毒作業を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
地域コミュニティ組織づくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和11年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成23年度～平成26年度)、 町単独事業(平成27年度～令和11年度)		
計画に記載している内容	小幡地域において、行事やイベントなどの実行委員会を組織する中核的な地域コミュニティ組織を育成、向上のためのワークショップ等を開催していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	開催方法や検討内容等について、協議が必要。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり講習会事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～令和11年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成23年度～平成26年度)、町単独事業(平成27年度～令和11年度)		
計画に記載している内容	住民を対象に町の文化財及び歴史等について講習会等を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
甘楽町の文化や歴史について学ぶ「町民文化講座」を開催した。 第一講座 令和3年1月28日(木) 参加者12名 第二講座 令和3年2月25日(木) 参加者12名 第三講座 令和3年3月18日(木) 参加者11名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
<input checked="" type="checkbox"/> 第一回講座の様子			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
		現在の状況

文化財の保存・防災・防犯

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
 文化財は、当町の歴史や文化を正しく理解するために必要なものであるとともに、地域の歴史や文化を発信するための貴重な資源である。このため、文化財を適切に保存しつつ、活用を図ることは重要なことであるため、積極的に推進する。
 甘楽町防災計画や総合計画を基本に、防災・防犯体制を整えるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「国指定名勝楽山園消防計画」を策定(平成26年6月5日)したほか、消防団による文化財周辺の水利確認や夜間の警戒巡視による予防消防に努めると共に、有事の際に備えた地域防災訓練を町内で実施している。文化財近隣においては、自治会住民による消防援助隊も組織されており、地域全体で文化財を保存していく活動により住民意識の向上が図られた。その他、町では(毎年)1月26日の文化財防火デーに合わせて、文化財に関わる職員の防火訓練を実施し、防災意識の向上を図っている。また、地域で保管管理する重要無形民俗文化財の修繕、新調などの支援により、文化財の保護・継承にも成果を上げた。

文化財を保管している主要施設については警備会社により厳重に管理し、職員との緊急の連絡体制も築いている。また、職員による定期的な見回りを実施し、文化財やその周辺状況を確認するとともに、所有者へも管理に対する注意喚起を行い、防犯意識の向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし

状況を示す写真や資料等



■町指定重要有形民俗文化財修繕(令和2年12月)
 「小幡八幡宮の屋台・飾り人形及び屋台ばやし」



■消火訓練(令和3年1月25日) / 名勝楽山園にて
 消火器具の使用法講習を受け、訓練に当たる施設職員

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
文化財の普及・啓発			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<p>現在、ほとんどの指定文化財には、広く文化財に対する理解を得るため説明板を設置している。また、『甘楽町の文化財』などの啓発的な冊子を頒布して住民への周知を図っている。一般公開されていない指定文化財は、所有者と協議し、期間限定で公開するなどの従来行っていなかった方法を模索し活用を進めている。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>地域の財産である文化財を住民とともに守り継承するため住民ボランティアを募集し、研修を通じて啓発に努めた。また、町指定文化財に理解を深めてもらうため名勝楽山園の夜間特別公開などを実施した。文化財の活用については、文化財ボランティア組織等と協力して新たに夜間ライトアップを実施し、文化財の多角的な公開を進めるなど積極的な利活用を図った。さらに、日本遺産「かかあ天下一ぐんまの絹物語ー」を活用した普及啓発事業として、座繰り体験・繭クラフト作り体験を開催し、町内小学校へも出前講座を行い、町の歴史や文化に触れられる機会づくりを進めている。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		なし	
状況を示す写真や資料等			
		<p>■名勝楽山園「御殿のお月見会」</p> <p>文化財理解を深めるため、夜間特別公開 (新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して開催)</p> <p>令和2年10月1日 入場者数 269人</p>	
		<p>■名勝楽山園「春のライトアップ」</p> <p>文化財ボランティア組織等と協力し、新たに夜間ライトアップを実施</p> <p>令和3年3月26日、27日 入場者数 466人</p>	
		<p>■「座繰り体験・繭クラフト作り体験」出前講座</p> <p>日本遺産「かかあ天下一ぐんまの絹物語ー」を活用した普及啓発事業として、町内小学校で開催</p> <p>令和3年1月22日、2月16日、18日 参加者 72人</p>	

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
重点区域における伝統的建造物群保存地区制度の導入に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	小幡・町屋地区の伝統的建造物が連なるところについては、早急に伝統的建造物群調査を行い、作成される保存計画に基づき、各種事業を導入し、計画的に保存を進めるものとする。同時に町独自の補助制度等を制定し、必要な支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内においては、若い世代でも町屋地区の景観を形成する養蚕農家を修繕して残していきたい考えをもっており、ごく小規模な修繕であるが、景観に配慮した修復を自費で行った事例も見受けられた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当初調査からの時間経過も考慮しながら、まち並み、建物の現地再調査などを行う必要があり、関係機関の指導のもと住民が主体となった体制を構築したうえで推進していかなければならない。地元代表者との打合せ、協議を行ったが、時間と慎重を要する面があり、当該地区における無電柱化や広告類などの景観整備、中央を北流する雄川堰の石積みや架橋の保存改修整備などを含め、地域住民との対話を基調として取り組んでいく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度 令和2年度 掲載紙等
織田宗家7代の墓守る「御霊屋」完成	R2.9.15	上毛新聞
国指定名勝で中秋の名月を愛でる	R2.9.25	朝日ぐんま
第9回 御殿のお月見会	R2.9.25	タウンぐんま
秋告げる名月 優雅に	R2.10.2	上毛新聞
織田の庭園 闇夜の顔	R2.11.18	上毛新聞
西毛の水利施設知って 県が「かんがい遺産カード」	R3.2.3	上毛新聞
庭園の水氷結 冬の静けさ 楽山園	R3.2.5	上毛新聞
織田氏の庭園・楽山園と武家屋敷地区	R3.2.19	タウンぐんま
七つの寺院や歴史名所巡り 2コースのマップ作成	R3.2.24	上毛新聞
甘楽の雛祭り	R3.3.12	タウンぐんま
ウメ 生命力あふれる 楽山園	R3.3.14	上毛新聞
光で染まる大名庭園	R3.3.26	朝日ぐんま
光に浮かぶ楽山園	R3.3.27	上毛新聞
甘楽町小幡	R3.3.28	上毛新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存と活用、歴史まちづくり事業のアナウンスに関しては、報道による周知が効果的であるため積極的に情報発信した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

積極的に情報発信したことにより、報道等で取り上げられ歴史的風致に興味を持つ来訪者が増えた。今後は、観光案内ボランティア等の受け入れ態勢の強化・資質の向上を図るとともに必要に応じて研修会等を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



織田宗家7代の墓守る「御霊屋」完成

甘楽町小幡「御霊屋」の整備が同所で完了した二写真。目の前は広場で、地元の人々が散策したり、歴史好きが訪れたりしている。

町によると、小幡は1615年に信雄が所領し、織田宗家7代が152年にわたって統治した。7代の墓石は崇福寺の旧境内に建っているが、近年、風雨による劣化も見られていた。御霊屋は七つの墓石をそれぞれ覆い、独特の風情を出している。町は「地域の先人を敬いつつ、歴史が感じられる場所になれば」としている。

■ 令和2年9月15日 上毛新聞



国指定名勝で 中秋の名月を愛でる

「御殿のお月見会」

甘楽町は中秋の名月の10月1日、国指定名勝楽山園で「御殿のお月見会」を開く。ろうそくの灯りが揺らめく夜の大名庭園で、中秋の名月を楽しむ写真上。

園内にある「凌雲亭」にはお茶席が設けられ、抹茶と月見会特注の生菓子(1服400円)が味わえる。また、来場者には、町のイメーτζキョウターをデザインした「かんらんちん焼き」写真真下のプレゼントも。生地の地元の産卵を使用した「暹羅の駅甘楽」の新商品で、中身はあんことカスタードの2種類がある。午後5時~同8時。入園料300円、中学生以下無料。同町教委(0274-74-3131)へ。

甘楽町の楽山園 10月1日

■ 令和2年9月25日 朝日ぐんま

第9回 御殿のお月見会

日時 10月1日(木曜)17:00~20:00 ※雨天中止。
会場 国指定名勝 泰山園 住所 甘楽町小幡648-2
料金 一般300円、中学生以下無料
甘楽町教育委員会 泰山園担当 ☎0274-74-3131



中秋の名月に開く月見会。群馬県唯一の大名庭園でろうそくの明かりが揺らめく中、お月見や散策を楽しもう。園内にある凌雲亭では、月見会特注の生菓子と抹茶(一服400円)をいただける。また、道の駅甘楽の新商品「かんらちゃん焼き」のプレゼントも(数量限定)。

■ 令和2年9月25日 タウンぐんま掲載



秋告げる名月 優雅に

甘楽・泰山園でお月見会

「御殿のお月見会」が、だんま真。山菜、甘楽町小幡の園、秋の夜更けに、無数の心づくしの光景、家かシャッターを切った、りして、

「御殿のお月見会」が、だんま真。山菜、甘楽町小幡の園、秋の夜更けに、無数の心づくしの光景、家かシャッターを切った、りして、

■ 令和2年10月2日 上毛新聞

甘楽の秋

織田の庭園 闇夜の顔



織田の庭園 闇夜の顔

織田の庭園 闇夜の顔

■ 令和2年11月18日 上毛新聞

西毛の水利施設知って

28日まで配布

西毛地域の農業水利施設を知って

高崎・長野、甘楽・雄川など18種

県が「かんがい遺産カード」

西毛地域の農業水利施設を知って

高崎・長野、甘楽・雄川など18種

県が「かんがい遺産カード」

■ 令和3年2月3日 上毛新聞



庭園の池氷結 冬の静けさ

甘楽 甘楽町小幡の国指定名勝、楽山園の庭園にある昆明池が氷結し、葉の散った木々や借景の山々と相まって、来場者に冬らしさを伝えている＝写真。

池は、周囲に配置された筑山や茶屋とともに、織田宗家ゆかりの庭園を構成する。撮影したこの日は何種類かの野鳥も訪れ、静けさを満喫していた。

令和2年2月5日 上毛新聞

TRIP **G**

群馬の魅力を巡る旅 歴史と自然が共存する甘楽町

地域の魅力を「新発見」「再発見」する「TRIP G」。今回は県の南西部に位置する甘楽町をピックアップする。江戸時代には織田氏の城下町として栄え、当時の面影を残す小幡地域や、豊かな自然を有する甘楽町。そんな同町の魅力を歩いて感じてみよう。

【取材協力】 両後援団 甘楽町 産業観光課 株式会社ココアインテイクス、道の駅 甘楽、甘楽町小幡こまつや、古民家からん（佐藤 謙）

甘楽町
KANRA

面積: 58.61km²
(全県都道府県市区町村別面積別)

人口: 1万2943人
(令和2年12月31日現在、住民基本台帳)

甘楽町は群馬県南西部に位置する甘楽部の町。北は上信越鉄や上信越道により隣接する高崎市、富岡市、碓氷市などの都市とつながり、南はくまがや山(箱崎山)を始めとした山々に囲まれ、豊かな自然が広がる。町の中心となる小幡地域は、江戸時代に織田信長の次男・信雄から8代にわたる織田氏の城下町として栄え、信雄が築造した大名庭園「楽山園」や、生活・農業用水路として利用されてきた「雄川堰」、武家屋敷などが当時をしのばせる。

町の主要産業は農業で、中でも生産が盛んなのがキウイフルーツ。生産量は県内随一で、栽培面積は県内の約4割を占める。「群馬県キウイフルーツ品評会」では町内の生産者が受賞者の常連となっており、1月に行われた第32回品評会でも最高賞を受賞した。そのほか、産地域の「曇みそ」や「雄川ねざり」などの特産物に恵まれている。

織田氏の庭園・楽山園と武家屋敷地区

楽山園は、江戸時代初期に織田信雄が築造した小幡藩邸の庭園を復元し整備した。県内唯一の大名庭園。河川と地形を巧みに利用した池や築山のほか、周辺の山々を見事に取り入れた「借景」など、近世初期の地方武家による作庭として価値が高いことから、2000年に国の名勝に指定された。

園内の休憩所「楽亭」では、庭園を眺めながら抹茶と季節の和菓子(有料)をいただける。

【楽山園】
 住所 甘楽町小幡648-2
 電話 甘楽町 社会教育課文化財課係長 0274-74-3131
 営業 9:00～18:00(3月～10月は5:00～17:00)
 料金 一般300円、中学生以下無料

歴史情緒あふれる中小路、御殿前通り

楽山園前の「御殿前通り」とそこから北に延びる「中小路」周辺は、武家屋敷が点在する地区。石垣や黒漆の白壁に囲まれた中小路には、下級武士が上級武士に出会うのを避けたと言われる山田家の石垣「険い道い堀」や、江戸時代後期の庭園を有する「松平家」、小幡の武家屋敷の中でも往時の様子を色濃く残す「高橋家」など、歴史を感じられるスポットが並ぶ。御殿前通りには、2019年にオープンしたイタリアンレストラン「プレトリオ」といった新スポットも。

【甘楽町 社会教育課文化財課係長】 0274-74-3131
 ※山田家、高橋家は個人宅のため、マナーを守って観覧を。

【御殿前レストラン PRETORIO】
 住所 甘楽町小幡620
 電話 0274-64-9595
 営業 ランチ/11:00～16:00 (土、日、15:00)
 ディナー/18:00～21:00
 ※ディナーは予約制、6人から、月曜は閉業営業のみ。
 注意 火曜(祝日の場合は翌日)


令和3年2月19日 タウンぐんま掲載

甘 楽 甘楽町の寺院でつくる 勝の楽山園 織田信長七代の墓、小幡権輔神会は、ハイキングやサイクリングで町内を巡れるマップを作った写真集。甘楽ふるさと館を窓口で、歴史や文化を感じられるコースを紹介している。

七つの寺院や歴史名所巡り
2コースのマップ作成

七つの寺院を訪れる26キロ、五つを回る9キロの2コースを設定した。道の駅甘楽や園指定名所を回る9キロの2コースを設定した。道の駅甘楽や園指定名所を回る9キロの2コースを設定した。道の駅甘楽や園指定名所を回る9キロの2コースを設定した。

七つの寺院で「七福神のスタンプ」を全て集めると、満願印や記念品をもらえるサービスも展開中。台紙7枚は甘楽ふるさと館などで買える。



甘楽町歴史民俗資料館企画展
甘楽の雛祭り

日時 4月11日(日曜)まで 9:00~16:00
会場 旧甘楽第二中学校 2・3階、松浦氏屋敷、甘楽町歴史民俗資料館、名勝楽山園
住所 旧甘楽第二中学校:甘楽町小幡684-1
料金 甘楽町歴史民俗資料館と楽山園のみ有料
甘楽町教育委員会 社会教育課文化財保護係 ☎0274-74-3131



ひな飾りの展示イベント。寄贈された「ひな人形」が、町内4か所に飾られる。メイン会場となる旧甘楽第二中学校には、大正時代から昭和時代に作られた約1,500体がずらりと並び、多種多様なひな飾りを楽しめる。甘楽町歴史民俗資料館(有料。月曜休館)では、江戸時代のひな人形「享保雛」も展示される。

令和3年3月12日 タウンぐんま掲載

ウメ 生命力あふれる 楽山園

甘 楽 園指定名勝の楽山園(甘楽町小幡)内にあり、樹齢180年とされるウメの花が見頃を迎えている。青空と山並みを背にした生命力あふれる白い花が咲き誇っている写真集。

ウメは楽山園西北側の小高い場所にある。樹高約10mで、東西約10mにわたって枝を伸ばしている。由来は不明だが、植樹は江戸時代末期といわれる。1991年に町指定天然記念物に登録された。園を管理する町教委によると、見頃は今月中旬まで。町社会教育課の担当者は「高台にある『梅の茶屋』からの眺めは絶景。季節ごとに異なる園を楽しむしてほしい」と話している。



令和3年3月14日 上毛新聞

光で染まる大名庭園

甘楽町の園指定名勝「楽山園」できょう26日と明日27日の夜、園内を光で照らす「名勝楽山園春のライトアップ2021」を開催。園内に整備した照明設備の完成を記念し、夜間に無料開園する。春の夜、昼間とは違う幻想的な大名庭園が光の中に浮かび上がる。写真集は試験点灯時、楽山園は江戸時代初期に織田氏によって造られた県内唯一の大名庭園。「戦国武将庭園」から「大名庭園」へと移行する過渡期の庭園で、京都の桂離宮と同じ特色を持つ。「梅の茶屋」「腰掛茶屋」など複数の茶屋を配していることから、織田氏と茶事との関連も浮かぶことが期待できる。

同園は「歴史まちづくり法」に基づく歴史的風致維持向上計画として、今回、茶屋や門などをライトアップする照明設備20基を設置した。期間中は、投光器やフットライトを加え、園内を光で染める。町の担当者は「今後も定期的に開催していきたい」と話す。午後6時8分、雨天中止。入園無料(昼間は要300円)。問い合わせは、町教育委員会(0274-74-3131)へ。

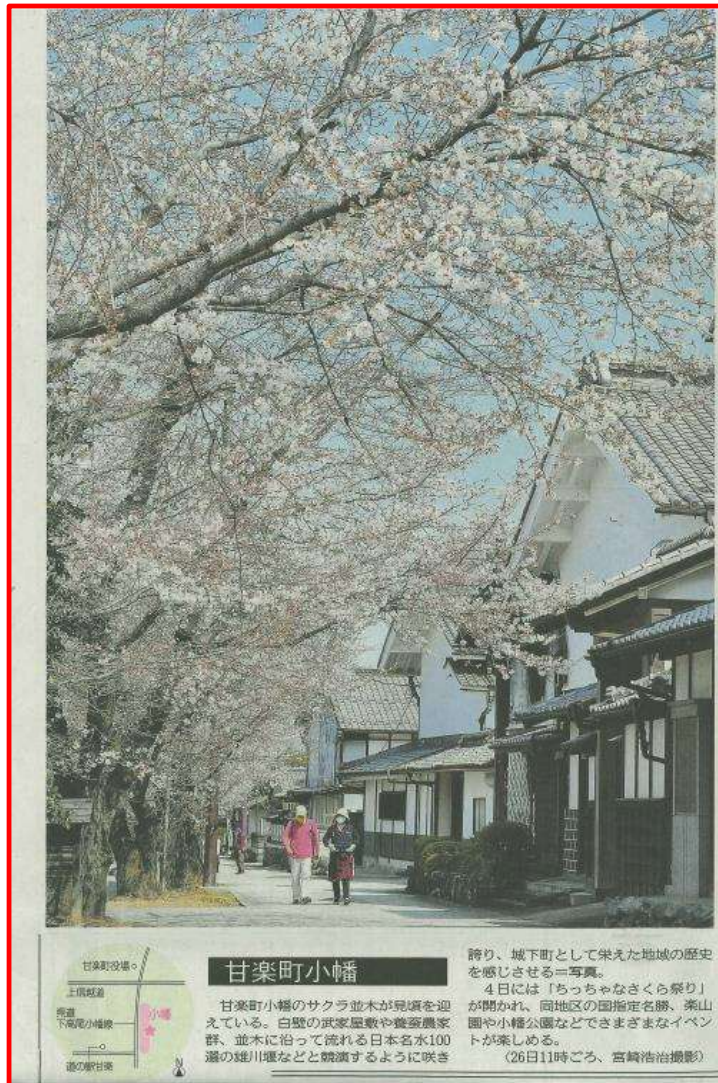
甘楽・楽山園 26、27日



令和3年3月26日 朝日ぐんま掲載



■ 令和3年3月27日 上毛新聞掲載



■ 令和3年3月28日 上毛新聞

施設整備後の活用と歴史文化啓発に関する事業

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的・形成建造物をはじめとする施設整備・活用と「キラッとかんら観光キャンペーン」をはじめとする歴史・文化を基調としたイベント開催で来訪者数・施設利用者数も増加しており、甘楽町の魅力発信による認知度向上に寄与している。また、施設管理やイベントの実施における、ボランティア等の協力者数が増加している。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

観光キャンペーンや各イベント実施にあたっては、住民や来訪者の声を反映させたものとしていく必要があり、意見徴収を継続して行っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



■雛人形展(令和3年2月27日～4月11日)



■昭和中期の町並み写真展
(歴史的風致形成建造物「有賀茶店蔵」)



■「楽山園友の会」(H24.7結成)ボランティア清掃